

農林水産関連トピックス（令和元（2019）・2（2020）年度）

| 県内の出来事 | 年月日 | 国等の動き |
|--|----------------|---------------------------|
| | 2019年 4月11日 | 韓国の水産物禁輸巡り、日本は逆転敗訴 |
| おうとう新品種「ジュノハート」とその上位等級品「青森ハートビート」の県内デビューに係る記念セレモニーを開催(A-factory) | 6月29日 | |
| | 7月1日 | ため池管理保全法の施行 |
| | 7月30日 | 国交省、経産省が洋上風力発電施設4候補地を決定 |
| 北彩漁業生産組合が生産する海峡サーモンの漁獲量が過去最多の100トン突破 | 8月12日 | |
| 八戸港にてアカイカの水揚量(春夏)が過去10年間で最多の6,000トン、27億円を記録 | 9月27日 | |
| | 10月5日 | EUが、岩手、宮城の水産物輸入規制を撤廃方針を発表 |
| 青森漁連流通PRセンター竣工 | 10月23日 | |
| | 11月1日 | 国内のマグロ漁獲枠を17%拡大 |
| 草地畜産基盤整備事業を活用し、東北町に酪農では県内初の協業法人北栄デーリーファームの大型牛舎が完成し稼働開始 | 11月28日 | |
| | 2020年 1月1日 | 日米貿易協定 発効 |
| 大間産クロマグロが豊洲市場で1億9,320万円で落札 | 1月5日 | |
| | 1月15日 | 平成30年農業産出額が公表 |
| 「青天の霹靂」がデビューから5年連続、「まっしぐら」が初めてとなる「特A」評価を取得 | 2月26日 | 日本穀物検定協会が食味ランキングを発表 |
| 県内のホタテガイ漁獲金額が5年連続で年間100億円を突破 | 3月1日 | |
| 県内のスルメイカ漁獲量が5年連続で過去最低を記録 | | |

| 県内の出来事 | 年月日 | 国等の動き |
|---|-----------|---|
| | 5月27日 | 国内のマグロ漁獲枠を1,397トンに拡大 |
| | 6月19日 | 一部魚種を対象に漁獲証明制度の導入方針決定 |
| おうとう新品種「ジュノハート」とその上位等級品「青森ハートビート」の全国デビューに係るデビューイベントを開催(東京、大阪) | 7月2～3日 | |
| 「青森きくらげ」の県内デビューに係るデビューセレモニーと先行販売を実施(青森市内) | 7月10日 | |
| 青森きくらげ販売開始 | 7月11日 | |
| | 9月～ | 豚熱が群馬県の農場で発生し、福島、山形の野生いのししでも感染が確認されたことから、福島、山形、宮城、秋田県がワクチン摂取推奨地域に指定 |
| | 10月1日 | ため池工事特措法の施行 |
| | 11月～ | 高病原性鳥インフルエンザが香川県の養鶏場で発生し、その後、全国各地で多発。 |
| 「青い森紅サーモン」が県内デビューするにあたり、青森市内においてデビューセレモニーと先行販売を実施した。 | 11月6日 | |
| 青い森紅サーモン販売開始 | 11月7日 | |
| 2020年農林業センサス(概数値)青森県分を公表 | 11月27日 | 2020年農林業センサス(概数値)を公表 |
| 下風呂、易国間、蛇浦の3漁協が合併し、新たに風間浦漁協が誕生 | 12月1日 | 改正漁業法施行 |
| 鱒ヶ沢漁協、赤石水産漁協が合併し、新たに鱒ヶ沢町漁協が誕生 | 12月2日 | 種苗法の一部を改正する法律が成立 |
| | 12月16日 | 県内全ての家きん飼養者を対象に緊急消毒を実施(告示日) |
| | 2021年1月1日 | 日英EPA 発効 |
| 大間産クロマグロが豊洲市場で最高値2,084万円で落札 | 1月5日 | |
| ハタハタの漁獲量が過去10年で最低を記録 | 1月6日 | |
| 青系196号を認定品種に指定 | 2月1日 | |
| 青天の霹靂が6年連続で特A評価を取得 | 3月4日 | 日本穀物検定協会が食味ランキングを発表 |
| | 3月12日 | 令和元年農業産出額が公表 |
| 本県12番目の県基幹種雄牛に「忠光安(ただみつやす)」を指定 | 3月18日 | |

各種受賞の一覧（令和元（2019）・2（2020）年度）

| 年月日 | 表彰名 | 賞 | 受賞者 | 概要 | 関係課 |
|----------------|-------------------------|---------------------|---------------------------|---|---------|
| 2019年 5月21日 | 令和元年春の叙勲 | 旭日単光章 | おいらせ町 木村 慶造 | 百石町漁業協同組合代表理事組合長として、ホッキ栞曳網漁業におけるホッキ貝の資源管理と共同操業の推進に尽力し、漁業者の収入の安定や乗組員の確保、燃油等のコスト縮減を実現するなど地域漁業の振興に貢献した。 | 水産振興課 |
| 10月18日 | 令和元年度豊かな心 らづくり全国表彰事業 | 農林水産大臣賞 | 外ヶ浜町 農事組合法人 上小国ファーム | 集落の農業者全戸からなる「農事組合法人上小国ファーム」を設立し、1集落1農場での農場経営を確立させる等、農作業の効率化と収益性の向上を進めるほか、女性や高齢者等の雇用を創出。また、小学生の農業体験、CSR(企業の社会貢献活動)の受け入れに取り組みほか、廃校を地域の活動拠点として整備するなど、地域の活性化にも貢献した。 | 農林水産政策課 |
| 11月3日 | 令和元年秋の褒章 | 黄綬褒章 | 風間浦村 佐賀 平一郎 | 広大な土地の生産力を生かした長伐期複層林施業の推進により、有利な農業経営を展開しているほか、人工造林が難しいとされたヒバの造林、ミズナラ、ホオノキ等の広葉樹の造林にも取り組み、地域の山造りリーダー的存在として、下北地域の活性化に貢献した。 | 林政課 |
| 11月3日 | 令和元年秋の褒章 | 黄綬褒章 | 六ヶ所村 大森 敏雄 | (株)ディリーサポート吹越の設立に尽力されたほか、循環型畜産を確立し、また、自らが率先して規模拡大をしたことにより、地域の増頭意欲を牽引し、産地の維持に貢献した。 | 畜産課 |
| 12月22日 | 第39回田中稔賞 | 田中稔賞 | つがる市 山内 勝 | 水稲の新たな技術の先駆的取組で省力・低コストを実現し、地域農業の生産性向上のけん引役として尽力した。 | 農産園芸課 |
| 2020年 3月20日 | 第21回全国果樹技 術・経営コンクール | 農林水産大臣賞 | もりやま園株式会社 森 山 聡彦 | 果樹園専用の生産アプリケーション「Ad@m」を活用し、生産コストの削減と作業の効率化を図っており、果樹生産におけるスマート農業の推進をけん引している。また、加工部門を拡大し、摘果りんご等の未利用資源を活用した新商品開発と、6次産業化に取り組み、安定的な周年雇用を創出するなどして、地域の活性化にも寄与している。 | りんご果樹課 |
| 3月26日 | 21世紀土地改良区創 造運動 | 21世紀土地改良区 創造運動大賞 | 水土里ネット板柳東部 | 将来の担い手となる子供たちを対象とした施設見学会「水の旅」及び工業高校生を受け入れてのインターンシップの実施、地元農家と連携した研究会や「いたや毛豆」のブランド化による地域活性化などに取り組んでいる。 | 農村整備課 |
| 5月31日 | 緑化功労者 | 林野庁長官賞 | 高田武志 | 平成16年に「七戸山桜の会」を結成し、以後会員と共に七戸町和田ダム周辺にオヤマザクラの植樹を継続して行ってきた。今年でその活動は17年目を迎え、これまで植樹したサクラは累計1,500本を突破した。 | 林政課 |